

4月号 2018年4月16日発行 No.179  
**運営通信**

この「運営通信」は、総代の皆さんに毎月の生協の事業や経営・活動に関する情報をお伝えするためにお届けしています。

## 春のブロック総代会議を開催します

「2018年度 春のブロック総代会議」を下記日程で開催します。

ブロック	日時	時間	会場
富山ブロック	5月15日(火)	09:30~12:00	富山センター2F 会議室
東部ブロック	5月18日(金)	10:00~12:30	東部センター2F ホール
西部ブロック	5月16日(水)	10:00~12:30	西部センター2F ホール

※富山ブロックは開始時間をいつもより30分早めておりますので、ご注意ください。

今回のブロック総代会議では、6月に開催する第59回通常総代会議案の事前審議と、ブロックにおける2018年度~2020年度にかけての第8次中期3カ年計画、および2018年度方針を提案します。

後半の分散会では、総代会議案に対する意見・質問を中心にご意見をいただきます。

(ブロック総代会議議案書を事前にお届けしますので、ご高覧の上、提案内容のご確認をお願いします。)

総代の皆様よりたくさんのご意見をいただきたいと思っておりますので、春のブロック総代会議にぜひご参加くださいますよう、よろしくお願いいたします。



2017年度春のブロック総代会議 分散会(西部ブロック)

出欠連絡表をご提出されていない方は、各ブロックまでご連絡をお願いします。

	富山ブロック (長坂・今庄まで)	東部ブロック (新田・佐々まで)	西部ブロック (講神・笠間まで)
電話	0120-30-4761	0120-62-0770	0120-52-5901
FAX	0120-46-5360	0120-76-0800	0120-63-8221

### 【目次】

- 1、春のブロック総代会議を開催します
- 2、理事会だより、経営実績報告
- 3、介護サービス報告
- 4、2017年度東日本大震災復興支援募金の報告
- 5、ご意見・ありがとうの声のご紹介
- 6、配送担当者に向けた投稿が掲載されました

表紙  
P2  
P3  
P3  
P4  
P4

富山県生活協同組合

<http://www.toyamaken-coop.or.jp/>

富山市金屋555

フリーダイヤル 0120-80-4717

発行:総合企画室



けんせいきょう

# 第10回理事会だより

日時：2018年3月15日 10:00～11:40  
 場所：富山県生活協同組合 本部会議室  
 (富山市金屋555)

(承認事項)

1. 定年制度改定の件
2. これからの生協のあり方検討会答申の件

# 第11回理事会だより

日時：2018年3月28日 10:03～12:35  
 場所：富山県生活協同組合 本部会議室  
 (富山市金屋555)

(承認事項)

1. これからの生協のあり方検討会答申の件
2. 2017年度2月度の事業・活動および経営報告の件  
雪害被害についての報告(最終)
3. 2017年度第4四半期まとめと2018年度第1四半期  
方針の件
4. 第8次中期計画基調方針の件
5. 2018年度基調方針の件
6. 藤ノ木小規模多機能居宅介護事業所建設業者決定の件

(協議事項)

1. 2017年度剰余金処分の考え方の件

(確認事項)

1. 機関運営・連帯関連報告
2. 2018年春のブロック総代会議開催の件
3. 第59回通常総代会運営役員の件
4. けんせいきょうサービス2017年度まとめと  
2018年度方針の件
5. 2017年度みなし自由脱退対象組合員確定の件
6. 冬の強化週のまとめと春の仲間づくり  
キャンペーン方針(案)について

## ◇2月度 事業・経営報告

(全体経営報告)

- ・総事業高は 6億9,143万円で、計画比 103%、計画差+2,077万円です。
- ・経常剰余金は 1,421万円で、計画差+262万円の実績です。

(機関運営、活動報告等)

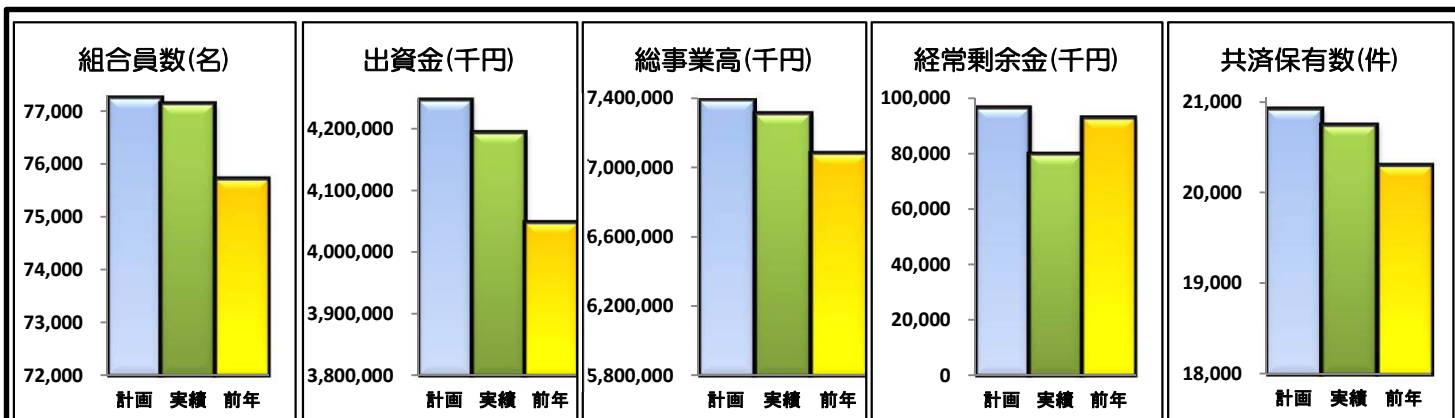
- ・2月5日からの大雪の影響でお届け出来なかった総額は5,000万円を超え、組合員にご迷惑をお掛けしました。
- ・2月26日に藤ノ木の小規模居宅介護支援事業補助金交付決定通知が届き、今後の建設スケジュールを確認しました。
- ・2月27日に氷見市と地域見守り協定を締結し、13市町村となりました。
- ・組合員活動参加は合計370名(計画比102%)でした。委員会は148名、分野別活動は11企画222名(サロン活動53名、商品活動51名、子育て支援37名)でした。ライチョウ基金取り組みは709から名469,300円集まりました。地域協同推進シンポジウム・行政との意見交換会に合計29名参加しました。

## ◇2017年度 事業・経営実績累計

【評価】○：100%以上、△：98%以上、×：98%未満

4月～2月	計画	実績	計画比	評価	前年	前年比	評価
組合員数(名)	77,258	77,139	99.8%	△	75,721	101.9%	○
出資金(千円)	4,245,799	4,193,236	98.8%	△	4,047,916	103.6%	○
総事業高(千円)	7,393,200	7,312,438	98.9%	△	7,083,399	103.2%	○
経常剰余金(千円)	96,365	79,814	82.8%	×	92,888	85.9%	×
共済保有数(件)	20,920	20,744	99.2%	△	20,301	102.2%	○

組合員数	…	組合員の総数
出資金	…	お預かりしている 出資金の総額
総事業高	…	事業高の総額
経常剰余金	…	事業活動で得た収入と 掛かった費用に事業外 での損益を加えた事業 活動による最終利益
共済保有数	…	ご契約いただいている 「たすけあい」・「あい ぶらす」・「ずっとあい」 の総数



## 介護サービス報告

3月度の福祉サービス利用状況について報告します。



3月度サービスご利用報告				
施設	サービス	指標	計画	実績
ゆとり～な	デイサービス	のべ利用人数	297名	258名
	ショートステイ	のべ利用人数	465名	438名
まる～な	富山型 デイサービス	のべ利用人数	486名	470名
	訪問介護事業	提供時間	810時間	710時間
輝くろべ	小規模多機能	※登録人数	20名	19名
	認知症 デイサービス	のべ利用人数	135名	22名
輝 城東	小規模多機能	※登録人数	23名	15名

※登録人数=利用人数です。

【お問い合わせ先】

施設	住所、窓口
デイサービスセンター ゆとり～な	富山市中間島2-27-6 076-492-4114 (林)
デイサービスセンター まる～な	富山市開発223 076-429-3256 (宮島)
ヘルパーステーション 訪問介護まる～な	富山市月見町4-42 076-429-5740 (上田)
けんせいきょう 輝くろべ	黒部市牧野750-1 0765-33-4515 (藤井)
けんせいきょう 輝 城東	高岡市城東1-787 0766-30-2071 (野手)

# 2017年度東日本大震災復興支援募金の報告

東日本大震災から7年が経過しました。現在も全国の避難者は約7万5千人、福島県での県内県外への避難者は約5万1千人（2018年1月30日現在、復興庁発表）となっており避難者全体の約7割を占めています。

県生協では2017年度も東日本大震災復興支援実行委員会が中心となって「福島子ども保養プロジェクト」「福島の視察交流ツアー」「“福島”の今を知る 報告・学習会」の3つの取り組みを柱に、支援活動を進めました。

この支援活動の運営は、2012年9月より実施しております「東日本大震災復興支援募金」を資金として活用させていただいております。また2017年度は9～10月に、福島が元気を取り戻すために福島県の地域生協であるコープふくしまが行う復興支援活動を応援するための募金「暮らし・地域復興応援募金」に取り組みました。

イベント時や事業所にも募金箱を設置し、2017年度の募金総額は412,230円となりました。皆様の善意の募金、本当にありがとうございます。今後も復興支援活動に取り組んでまいりますのでご理解・ご協力お願いいたします。

「暮らし・地域復興応援募金」はコープふくしまの次の活動を応援

### ①原発事故による避難生活者への寄り添い活動

- ・仮設住宅等でのふれあいサロン活動
- ・仮設住宅等でのイベント企画、支援スタッフ等の被災地視察学習等

### ②福島県産農産物の風評被害克服PRと販売応援活動

- ・農産物等応援カタログ、作成・印刷・発送代、イベント参加費用等

### 2017年度東日本大震災復興支援募金報告

参加人数 (OCRのみ)	618名
募金総額 (現金募金含)	412,230円
「暮らし・地域復興応援募金」 264,298円 (OCR参加354名) を含みます	

## 2018ふあるこんまつりでも復興支援活動を行います



5月26日(土)に西部センターにて開催する「2018ふあるこんまつり」で東日本大震災復興支援チャリティバザーを行います。組合員さんから募った遊休品の販売し、収益金は復興支援募金として活用させていただきます。



**ふあるこんまつり**  
日時 5月26日(土)  
11時～14時  
会場 西部センター  
(高岡市戸出春日658-1)  
生産者直売コーナーなど  
試食や催しが盛り沢山!



# 総代の皆様からお寄せいただいたご意見・ご要望をご紹介します！

今回は先月3月号で大雪に関する影響について、いただいたご意見のご紹介です。

ご意見・ご要望	回答
<p>自然のことなので仕方ないかな、と思います。欠品扱いにした商品、ものはあるけど配送できない。その損益分はどうするのかな？と。近所の方は、とまみしょうゆの金屋美人が欠品！に驚いていました。年間最安値で期待していただけに残念！！と。翌週配送でOKなものは翌週等にしたらいいのかな～と思いつつ、個別対応は難しいのかな？とも。システムの難しいのかもしれないけど、台風や雪で配送できない時は「翌週でもOK」「翌週なら要らない」等選択ができるといいのかなーと。特にネット注文ならすぐに反映させやすいので。年間最安値は早い段階でもう1度してほしい人いると思います。「大雪ごめん企画」的なもので、配送できなかった年間最安値商品だけ集めたチラシ等。</p>	<p>この度は大雪により大量の商品が欠品となりましたこと、お詫び申し上げます。出来る限り商品をお届けしようと、一部土曜日の配達や雑貨やケース飲料などは翌週でお届けいたしました。しかしながら、福井県の物流センターで仕分けをしているドライ商品・冷凍商品があまりに多くの商品が滞留した為、次週の商品入荷が出来ない恐れや、仕分け作業が間に合わない可能性があったため、やむを得ず欠品とさせていただきます。また、福井県では仕分け作業者が出社できない状況が長く続き、2週分を仕分けできる程の余力もございませんでした。このようなことから、ご意見をいただきました「翌週配達」等の選択ができる仕組みは考えておりません。何卒ご了承のほどお願い申し上げます。</p> <p>また、「もう一度年間最安値商品だけを集めたチラシを企画してはどうか」というご意見ですが、「年間最安値」企画は、取引先からの協力を得て、年に数回程度の実施と決まっております。数量確保の調整等もあり、再度同じ商品で企画を準備するには時間がかかるため、見送らせていただきました。</p> <p>しかしながら、雪害で組合員さんへ大変なご迷惑をおかけしたことに對して、取り急ぎ4月2回の「コープファミリー」の表紙で「年間最安値」からさらに10%引き価格（農産は年間最安値もしくは前回企画よりお買得価格）での「お詫び企画」を実施させていただきました。</p> <p>今回の雪害を教訓にして、組合員の皆様に状況をお知らせできる仕組みを検討し構築してまいります。貴重なご意見をありがとうございました。</p>

## ありがとうございますのご紹介

<p>こんにちは。暖かい日が続いております。私共は大雪による欠品商品も少なく、皆様のご苦勞に感謝しております。玄関先までのお届けに、生協に入っていて良かったと心より喜んでおります。今後もよろしく願い致します。健康に注意され頑張ってください。本当にありがとうございました。</p>	<p>今年の冬は主人の入院で午前中から病院に通いましたので朝しか雪かきが出来ず、配達時は通路が埋まって大変だったと思います。担当さんがありがとう。</p>	<p>大雪の時は大変でした。運配もありましたが、宅配に感謝でした。運転される方々、本当にありがとうございました。</p>
<p>雪がたくさん降り続くなかでも、家まで食品等を届けていただけなので（欠品が出ても）とっても助かりました。冷凍食品やドライ商品が坂井市の物流センターで仕分されて運ばれているのですね。初めて知り、驚くと共に感謝の気持ちでいっぱいになりました。ありがとうございました。</p>	<p>まず、大雪の中配達していただいた事に深く感謝します。欠品は当然あると思っていましたので何とも思いません。乾物の野菜、豆類、海草、缶詰めなどや冷凍庫、冷蔵庫の中の保存食品を使い切る機会でもありました。自然の災害は必ずあるので、むしろ無理に危険な中を配達しなくても良いと思います。それはそれで大変なことになるので、判断は難しいですけど。とにかく「いのちが大事」です。各家庭では1週間くらい買い物しなくても食べられるような日頃の備えが大切だと思いました。</p> <p>職員の方々の事故やケガは無かったですでしょうか。雪道の運転や重い荷物を持って滑る雪の中を配達していただけた事、どれだけありがたかったかわかりません。ありがとうございました。</p>	

## 配送担当者に向けた投稿が掲載されました

4月5日（木）北日本新聞朝刊20面「読者のひろば」より

**生協のおねえさん**  
入善町 (主婦 82歳)

もうすっかり春ですね。生活協同組合のおねえさん、冬の間はお世話になりました。私は家にこもりがちで、な、心細い毎日を送っていました。あなたの元気な声と細やかな心遣いに随分と励まされました。ペットの文鳥が病気の時はテキパキと

キと病院を探してくれました。「今日は顔色が悪いよ。風邪をひかないようにね」と、笑顔で声を掛けてくれる優しさがうれしかったです。忙しい時期になりますが、事故を起さないでね。体に似合わせた大きな配達車を運転しているの、気がかりです。あなたの笑顔を羨しみにしている利用者はたくさんいるはずですよ。いつもありがとう。頑張ってください。

4月5日(木)の北日本新聞の朝刊第20面「読者のひろば」に、組合員さんから配送担当者に向けたあたたかい投稿が掲載されましたのでご紹介します。投稿された方は、県生協の福祉個配をご利用されている組合員さんです。

高齢化が進む中、地域における見守りや支援の取り組みがより一層求められるという事を認識しております。『第8次中期3ヵ年（2018年度～2020年度）計画』では、県生協の機能や能力を組合員・地域の資源として活かしながら主体的な活動に取り組むこと、助け合いの組織として組合員・地域へのお役立ちを高めるため前進することを方針に掲げています。

県生協の全役職員が組合員へのお役立ちを第一に今後も活動してまいります。投稿いただいた組合員さん、温かいお言葉をありがとうございます。

